

トヨタ自動車(株)の損益分岐図(1990年6月～94年6月)

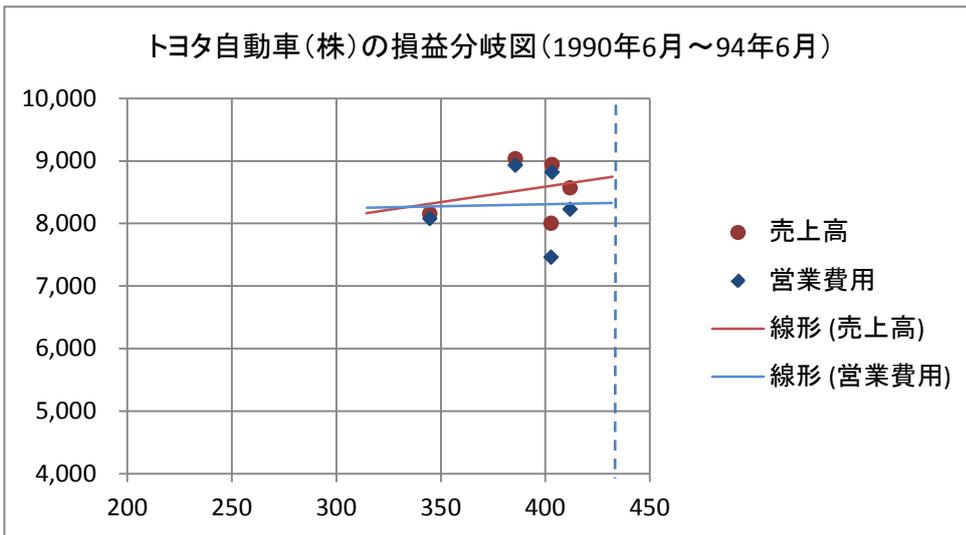
売上高、営業費用(10億円)

横軸は生産台数(万台;乗用車、トラック、バスの合計)

注:営業費用=売上高-営業利益。ただし住宅も含む。

この期間のトヨタ自動車の生産能力は434.4万台。

決算期	万台 生産能力 (月産)	万台 生産能力 (年)	万台 生産台数	稼働率	10億円 売上高	10億円 営業利益	10億円 営業費用	営業利益率
1990/6月期	36.2	434.4	402.8	92.7%	7998.1	538.7	7459.4	6.7%
1991/6月期	36.2	434.4	411.9	94.8%	8564.0	338.8	8225.2	4.0%
1992/6月期	36.2	434.4	403.3	92.8%	8940.9	124.9	8816.0	1.4%
1993/6月期	36.2	434.4	385.7	88.8%	9030.9	103.6	8927.3	1.1%
1994/6月期	36.2	434.4	344.7	79.4%	8154.8	76.8	8078.0	0.9%



生産台数と売上高の正比例が弱い。

生産台数が減っても売上高が高い。価格引き上げか。

この期間の生産台数の減少幅が小さい。

94年6月に稼働率79.3%で営業利益が0に接近。→損益分岐点稼働率。

